

自力闘争だ！委員に頼るな！

製鐵所二万の従業員諸君！

諸君は「くいなあ」と云ふかもしれぬ。だが、くり返して叫ぶ。▲全従業員は自主的闘争主体の確立なしではダメだ。諸君の委員は「たれも上京しな。四派の代表者も、ツツバ腹で行つた。市會から賑々しく繰り出された。だが、これは皆な無謀な行動だ。東京見物だ。たれぞそれだ。▲これではダメだ。理屈ではない。事實を見ればわかる。

降参旗を

たてた市會

二十八日の八幡市會は何故流合計百枚足らずの傍聴券を出した。市會は「餘地のあるかぎり入るべき」と陳情書を出したが、議長は之れを拒絶し、却て全傍聴者の退場を要求した。傍聴者は此の不当な要求に頑として應じなかつた。自ら「市會に押寄せろ」と主張した議民側七名の議員は、公新會に叩頭百拜、退場を懇願したが、公新會とクルになつてゐる彼等の内面を看破せる市民は此の泣落しに叱咤激勵を以て報つた。議長は更に正式市會を協議會に移し、秘密會として傍聴者を追出さうとしたが、我々は此の暴挙に断乎として反對した。萬葉盡きた議長は、無能無力、遂に市會を散會した。何故に斯く市民は頭張つたか。ブルの手先公新會は、合同によるまごぼれが黄へるので、内心從

委員の弱腰

を叩き直せ！

議員はともかく、諸君の代表者として上京した、委員諸君は東京第一回の職工總代表三人から第一報「共済組合の年金に就いて目下審議中だ」と第二報「条件悪化の報を傳へて長官に言明せよ」とも悪くはないと辯明した。委員は何のために上京したのだ。諸君は合同反對を呼び、委員は死力を盡して合同案を擧げた。労働条件の低下防止のために運動しつゝ、彼等は口で合同反對を唱へながら、絶対反對を突かざる意氣はなかつた。彼等は「これぞ、我々の弱腰だ。我々の弱腰は、當然だ。だが、労働条件の悪化は、當然だ。我々が力で戦ひ取るべきことだ。今から下へ、頭を下げて、哀願するとは、何たる態度だ。こんなことで労働者の威力が示せるものか。相手がスツカリ足元を見すかされて、バカにされるばかりだ。第二の上京委員が將して何をするか、押して知るべしだ。五分か十分會つて貰つて、「諸君の意のあるところはわかつた。悪いやうにはしない」といふ、通り一遍の

ベテン師が

またダマした

上京、上京と、何と上京氣遣ひの多いことだ。東京にさへ行けば大臣や長官が、すぐ職工の云ふこと聞きでもするかのやうだ。上京、上京と浮きつてゐる。派の代表者だ。彼等は、二十八日の市會で市會の上京委員を選んで、「諸君に行きたいために、自分達が押かける」と云つて招いた市民諸君に「出て、彼等と戦つてくれ」といふ。彼等が、二十八日夜の總代表會議で選ばれた上京委員の口取を二十九日提案されるといふ情報があつた。だが、諸君に聞く、諸君は彼等の行動に威力あらしむべく何をしたか。十錢づつ出した「露で万歳を叫んだ」といふことで、ソシかたつて来る金融大財閥の威力を返せといふのか。ソシか上れ！手をつなげ！腕を組み、突進の身構へをしる！死闘を誓へ！自主的闘争主体、ここにこそ威力が生れる。暴力が盛り上がるのだ。▲直ちに従業員大會を開け！▲合同絕對反對闘争同盟を作れ！▲自主的、決死的闘争へ！▲ベテン師を叩き潰せ！

社會大衆黨製鐵官民合同反對闘争委員會